



しまねの社会教育だより

vol. **5**



基礎研修講座修了証の授与



基礎研修「しまねの社会教育入門」



基礎研修「プレゼンテーション術入門」



基礎研修「社会教育施設入門」



基礎研修「コミュニケーション術入門」



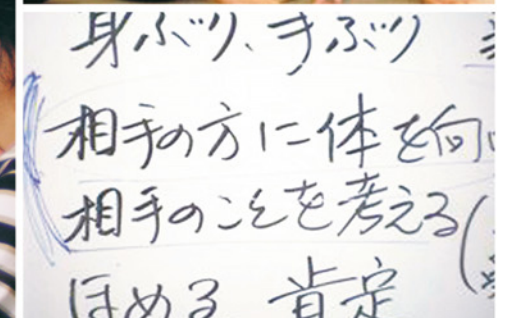
基礎研修「プレゼンテーション術入門」



課題別研修「家庭教育と社会教育」
～親学ファシリテーター養成講座～



基礎研修「参加型学習入門」



特集

しまねの社会教育の推進役「社会教育主事」

photo 東部社会教育研修センター主催講座の様子

2010.
9月号

発行：島根県立東部・西部社会教育研修センター

しまねの社会教育の推進役「社会教育主事」

社会教育主事は、教育委員会の職員として、地域住民の皆さんが豊かな生活を送るために、研修会や講座など学習の場と機会を提供したり、学習相談など住民の皆さんと接しながら学習意欲を高めるための働きかけをしたりしています。

島根県の社会教育の推進役である「社会教育主事」が果たしている役割・職務について紹介します。

「社会教育主事」とは・・・

社会教育法に基づいて県や市町村の教育委員会に置かれる社会教育を推進する専門的教育職員です。

県や市町村の社会教育行政の中核として、地域の社会教育事業を直接企画・実施したり、関係機関・団体の事業に助言・指導したりすることを通して、地域住民の自発的な学習活動を援助する役割を果たしています。



公民館職員研修において講師をつとめる社会教育主事

社会教育主事

社会教育に関わる幅広い分野・内容で活躍しています!

◇社会教育主事が担当する主な分野◇

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 青少年教育・健全育成 | 家庭教育支援 | 成人教育 |
| 学社連携・融合 | 人権教育 | 芸術・文化 |
| 社会体育・生涯スポーツ | 高齢者教育 | ボランティア活動 |
| 女性教育 | まちづくり・地域振興 | 野外活動 |

◇社会教育主事が担当する主な内容◇

- | | | |
|-------------|----------------------------|---------------|
| 事業の企画・立案・運営 | 関係団体の支援 | 情報の収集・提供・学習相談 |
| 予算編成・執行関係事務 | 学習計画・教育計画の立案 | 事業等の評価 |
| | 施設の管理・運営 | 住民に対する指導・助言 |
| | 生涯学習・社会教育関係者への指導・助言 | |
| | 社会教育委員の会・生涯学習審議会等委員会に関する事務 | |
| | 関係職員の研修の企画・立案・運営 | |



社会教育主事が企画に関わった「野外教育」活動

社会教育主事の「新たな役割」と求められる「専門性」

現在、学校・家庭・地域の連携活動を社会教育として支援することが求められています。

社会教育主事は、これまでの役割に加えて、地域において社会教育関係者が連携して活動を進めていくために、人材等に関する調整を行い、関係者の具体的な活動を触発していくコーディネーターとしての役割を果たすことが必要となっています。

このような仕事を進めていく上で特に必要とされる専門性として次のような能力があげられます。

◆学習課題の把握と企画立案の能力

地域住民の学習ニーズを把握し、効果的に学習を進め、学習成果の活用につながる学習の場と機会を企画立案する。

◆コミュニケーション能力

地域住民と対面し、説明をしっかりと行い、有効な人間関係をつくる。

◆オルガナイザーとしての能力

集団における人間関係の調和、組織の維持・拡大、効率的な運営のための機構、適切な財政運営など、集団としての基礎を固め、凝集性を高める。

◆情報を精選し提供する能力

学習情報をはじめ文化・スポーツ事業など広範囲にわたる情報を精選し、適切に発信する。また、収集した情報を活用して相談体制を整備し、地域住民の様々な相談に対応する。

(参考：「新訂 生涯学習概論ハンドブック」国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 2009)



「社会教育主事の専門性を考える」
(平成21年度 派遣社会教育主事等研修会)

社会教育主事になるためには

社会教育主事は教育委員会が任用する職名です。教員や行政職員で、「社会教育主事講習」を終了している人の中から任用されます。

社会教育主事にはだれでも自由になれるわけではありませんが、社会教育主事になるための「社会教育主事講習」は、公民館や社会教育施設の職員など、社会教育に携わっておられる方や、社会教育に興味をお持ちの方は受講することができます。



(主に) 一括履修コース

◇教員や教育委員会職員など、1回の研修で全ての単位を取得したい方

期間：8月中の約25日間

会場：広島大学



(主に) 分割履修コース

◇公民館等職員や社会教育に関心のある方など、1～4年に分けて無理なく単位を取得したい方

期間：平成23年1月19日(水)～2月25日(金)の27日間
単位ごとの分割履修が可能です！

会場：東部社会教育研修センター 出雲市小境町(サン・レイク)
西部社会教育研修センター 浜田市野原町(いわみーる)

社会教育主事講習は、社会教育の基本的な考え方や進め方、課題分野別の特別講義のほか、レクリエーション・スポーツ活動等の実技演習や事業計画の立案の演習など充実した内容です。

公民館等社会教育施設の仕事、地域でのボランティア活動にも大変役立ちます。

(※受講するためには、教育委員会の事前審査を受ける必要があります。)



東京会場からインターネット配信される講義を受講

島根県の社会教育主事

平成22年度に発令されている社会教育主事

◇県の社会教育主事	53名
◇市町村の社会教育主事	27名
合 計	80名



社会教育主事が企画した「ふるさと教育」教職員研修会

県の社会教育主事配置

県では、社会教育主事を次のような考え方に基づいて配置しています。

小中学校の教員の中から、社会教育に対して専門的な知見を備えた社会教育主事を社会教育行政の事務局や各施設に配置するとともに、市町村教育委員会に派遣（派遣社会教育主事）します。

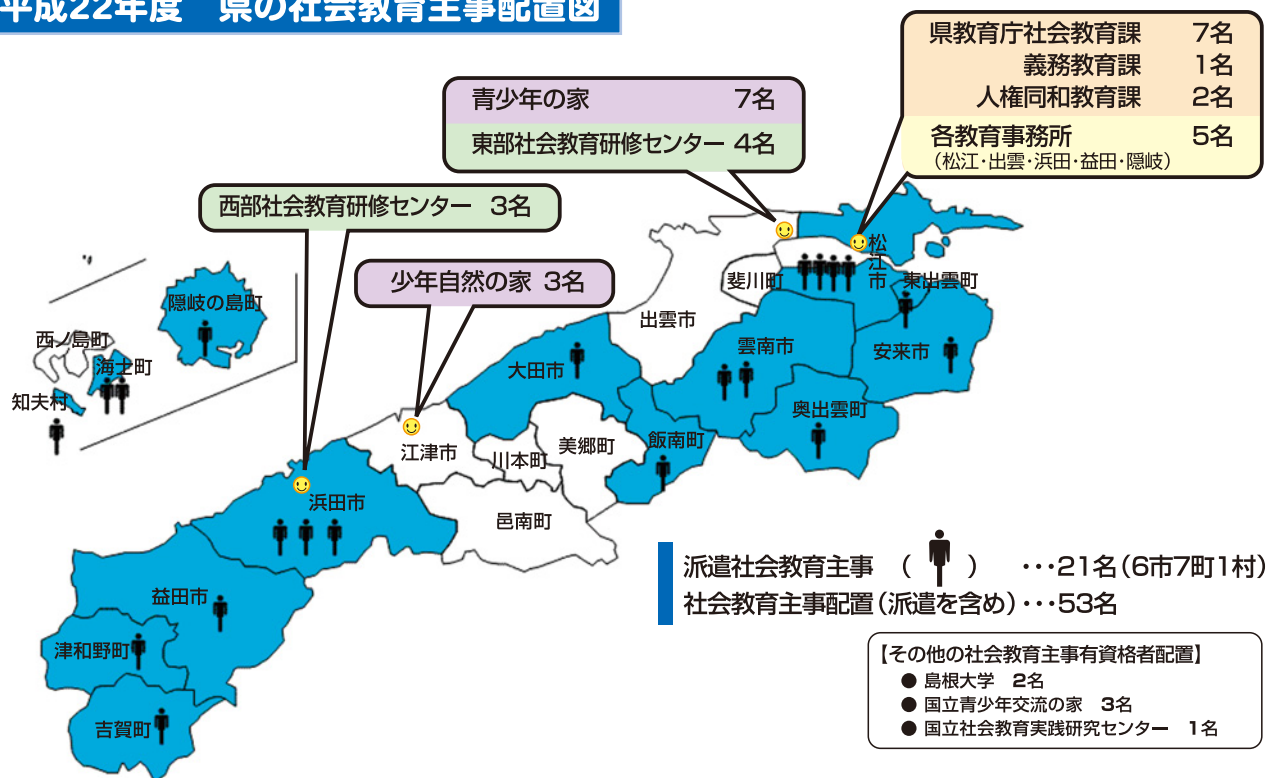
これら社会教育主事は、県内の社会教育の充実と生涯学習社会の実現に向けた支援を行います。

各施設の社会教育主事は、施設の特性を生かして県の社会教育施策の実施と市町村の社会教育行政運営の支援を行います。

派遣社会教育主事は、市町村の社会教育行政運営に携わり、派遣された市町村において学校・家庭・地域の連携協力の構築を推進するとともに、県の社会教育事業の推進を図ります。

「社会教育主事の派遣制度」は、国の補助がなくなった後も県として堅持しており、島根の社会教育行政の根底を支えている要となる制度です。

平成22年度 県の社会教育主事配置図



県教育委員会事務局

県教育委員会の事務局には、社会教育課に7名、義務教育課に1名、人権同和教育課に2名を配置しています。

県の社会教育行政の方向性を示したり、施策を遂行するとともに、市町村への支援を行います。

社会教育研修センター

社会教育研修センターには、東部4名、西部3名を配置しています。

指導者養成機能により市町村の社会教育指導者・担当者の専門性を高めるための研修や、市町村の社会教育行政運営に役立つ調査研究を行います。

各教育事務所

松江・出雲・浜田・益田・隠岐教育事務所には、1名ずつ5名を配置しています。管内市町村の社会教育の充実のために、派遣社会教育主事とともに市町村の支援や県の施策の実現に努めています。

青少年教育施設

青少年教育施設には、青少年の家7名、少年自然の家3名を配置しています。小中学生を中心とした青少年の心身の健全な育成を図るために、体験活動や宿泊研修、交流活動の機会やプログラムの提供を行います。

派遣社会教育主事

派遣社会教育主事については、6市7町1村に21名を派遣しています。

任務や役割については下の概要図をご覧ください。

社会教育主事派遣制度の概要

子どもたちを取り巻く様々な課題

- 学校教育をめぐる課題
- 家庭教育をめぐる課題
- 地域社会をめぐる課題

心豊かでたくましく
明日の島根を担う
子どもの育成

しまね教育ビジョン21

- (1) 学校・家庭・地域の連携協力による教育力の充実
- (2) 社会教育の振興による生涯学習社会の実現

県の社会教育主事を市町村教育委員会へ派遣

以下の項目に重点を置きながら、地域における社会教育及び「学社連携・融合」の推進に関する事務に従事することを目的に、県の社会教育主事(社会教育主事資格を有する教員)を、希望する市町村教育委員会へ派遣する。

【重点項目】

- ① 学校・家庭・地域が連携協力した社会教育及び「学社連携・融合」の推進
- ② 地域の「ひと・もの・こと」を生かしたふるさと教育の推進
- ③ 市町村合併後の地域の自立に向けた人づくり・地域づくりの推進

【職務】

◆「学社連携・融合」の理念に基づく学校教育の充実と地域教育力の向上

- 「学社連携・融合」の推進体制づくりとその運営に係る支援
- 県教委の重点施策(ふるさと教育、放課後子どもプラン等)の推進
- 地域の教育資源「ひと・もの・こと」を生かした教育活動のコーディネートと支援
- 上記の課題に関する公民館活動との連携の構築

◆地域における子どもたちの豊かな体験活動の充実

- 子どもたちを支える地域の大人の組織づくりと指導者の育成・養成
- 青少年教育事業の企画、立案、運営
- 地域の社会教育関係者、PTA、NPO等のネットワークづくり

◆市町村の社会教育担当者の養成

- 公民館主事等社会教育関係者の養成 等

【派遣者数と派遣先】(平成22年度)

- ◆ 派遣者数 21名
- ◆ 派遣先市町村数 6市7町1村

【派遣期間】

原則として4年以内

このような社会教育主事配置により、島根県における社会教育行政の推進を図っています。

※派遣社会教育主事の具体的な活動の様子は、本誌各号で紹介しています。

「地域力」醸成のポイントを探る

実証! 「地域力」醸成プログラムの企画プレゼンテーション大会が6月29日に開催されました。当日、会場である県庁6階講堂には、県知事・教育長・教育委員をはじめ関係者が大会の様子を見守り、県外から40名もの視察がありました。また会場は満席となり立見をする人も大勢おられ、関心の高さを伺わせました。まさに今、島根の社会教育が熱い!!と感じられました。

今回、モデル公民館に名乗りをあげようと県内各地から15ヶ所のプレゼンテーションがありました。そのうち10ヶ所が選定されましたが、プレゼンターの方々からは、地域を活性化させたいというあふれんばかりの熱い思いが、会場の参加者にも伝わってきました。



会場は立見が出るほどの盛況ぶり

H22年度 選定モデル公民館

公民館等の名称	実証事業のテーマ
浜田市立安城公民館	「誰もが安心して“弥栄で生きてよかった”と思える町になるために・・・」
隠岐の島町立都万公民館	「高齢者だからこそできる地域づくりは、自分自身が光（高）齢者になることから!!」
浜田市立周布公民館	「煌めけ☆周布!! ～スポーツを通じた地域の健康づくり～」
邑南町公民館連絡協議会	「ふるさとまるごと博物館プロジェクト」
浜田市立岡見公民館	「伝承・伝播・伝達 てんでつたえに じげ岡見 ～私たちが暮らすふるさと 岡見を次々と伝えよう～」
益田市北仙道公民館	「一人ひとりがつながり、地域は地域で守る、活気あふれる北仙道」
浜田市立三隅公民館	「三隅氏復活プロジェクト 三隅伝 いにしえからの叫び～三隅氏が輝いていた中世の歴史を語り継ごう～」
飯南町赤来地区公民館協議会	「伝えよう 囃子の音を後世に!! ～広げよう 囃子の音で地域の輪!!～」
浜田市立白砂公民館	「受け継ごう 先人の思い 語り継ごう次世代へ ～黄金の宝 西条柿がつなぐ地域の絆～」
大田市立温泉津公民館	「まちのすべてが学びの場 ～開校! 『温泉津いろは楽校』～」



「地域力」醸成について熱く語る発表者

「地域力」を醸成するための方向性

今後、財政に多くの依存をできない状況の中、閉塞感を打破し、地域の元気を取り戻すためには、「地域力」（自治・自立の理念に基づく地域の底力）を高めていく必要があります。そのために…



① 地域課題の明確化

② 住民を巻き込む仕掛け

③ 効果の見通し

が、重要となります。

今回のそれぞれの地区からの発表は、まさに地域活性化の可能性を感じさせるものでした。

4年目となるこの事業で、これまで選定された公民館が、どのように「地域力」を醸成しようとしているのか、またどのような成果が現れてきているのかを考察していこうと思います。

モデル公民館は “いま”

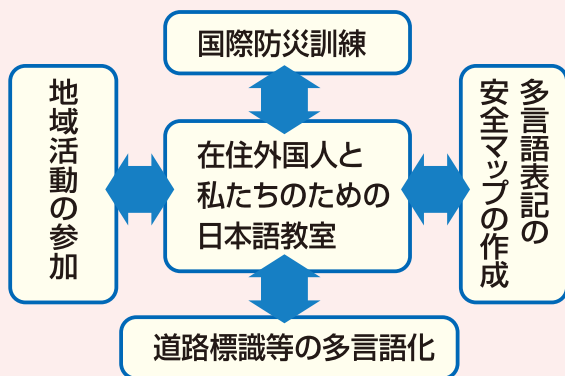
実証！「地域力」醸成プログラムモデル公民館 松江市朝日公民館

【実証事業のテーマ】地域文化を語り在住外国人と私たちが共生できるまちづくり

朝日地区は人口4300人余りですが、近年はマンションなども多く建設され、人口は徐々に増えてきています。松江駅を中心に百貨店、大型スーパー、企業などの進出や繁華街もあり、外国人の往来も多い地区です。そこで朝日公民館では実証事業のテーマを「外国人との共生」に設定しました。

POINT1. 国際文化観光都市の「窓口」地区だからこそ！

朝日地区は、松江の玄関口である松江駅があり、また大型店舗などもあり、松江の都市機能の中核として経済をリードしてきた地区です。外国人が安全で安心して暮らすことができるまちづくりは、国際文化観光都市の玄関ともいえる朝日地区が先駆的にやらなければならないとの強い思いが大きなきっかけでした。



地区住民や近隣住民を対象に、日本語指導のための養成講座を年間9回実施し、これまでに20人ほどの指導者を養成しました。このうち17人が登録され、日本語教室には常時12～14人が指導者ボランティアとして参加しています。したがって、受講者のほとんどが個人指導です。

その他にも日本語の会話力アップのための話し相手や、受講者の子どもの託児ボランティアをしている方もいます。

また、他地区に住んでいる外国人を対象に、学校の案内文などの文書の内容を分かりやすく伝えられるよう、他の地区の公民館にも協力を求めたりもしています。

POINT3. 外国人との共生が国際化&地域力醸成の鍵を握る！

この「あさひ日本語教室」をきっかけにはじまった事業は多岐にわたります。日本語教室の受講生と住民による、地区内および松江市内の表示・看板の見回り。大規模地震の発生を想定した防災・救助訓練。また、毎年行われている「朝日まつり」への参加では住民との交流がすすんでいます。

朝日公民館の取組は、外国人との共生を通して、松江の玄関口をより国際的に変えていくものであり、地域力醸成へとつながる大きな可能性を秘めています。

POINT2. 日本語教室からひろがる「地域の輪」

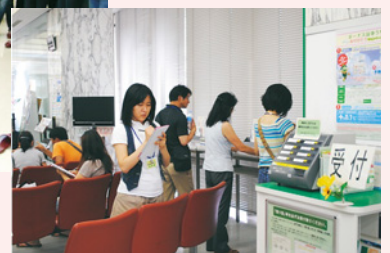
事業の大きな柱となるのが外国人のための「あさひ日本語教室」です。国籍はフィリピン、韓国、インド、中国、バングラディッシュ、エジプト、ブラジル、カナダ、アメリカなどまさに多国籍にわたります。年齢も9歳から～40歳代までさまざまです。受講者は常時12～14人程度が参加しています。



日本語教室の様子



防災訓練の様子



住民と外国人による表示・看板の点検

朝日公民館

〒690-0001 松江市東朝日町49

TEL. 0852-21-3432 FAX. 0852-21-3717

住民の意向を社会教育行政に反映させる 社会教育委員とは

社会教育委員制度は、社会教育行政に広く地域の意見等を反映させるために、教育委員会の諮問機関として設けられた制度であり、社会教育委員としての職務は、住民や関係者の意向を社会教育行政に反映させるために活動するところにあります。

しかしながら、社会教育委員の活動は県内にも格差・温度差があり、全国的には停滞気味です。「社会教育委員の制度が十分に機能していない」「社会教育委員の会議が形骸化している」という指摘もあります。行財政改革や市町村合併の進行のなかで、社会教育行政をとりまく状況は大変厳しいものとなっています。社会教育法の改正により、社会教育の新たな任務が加わった今日、社会教育委員の担う職務はますます重要になっています。

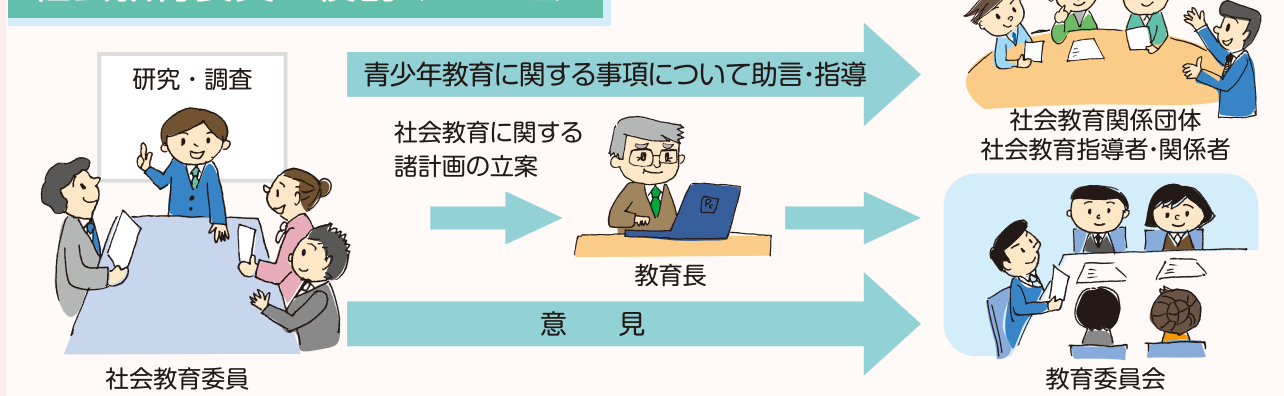
社会教育委員とは (※社会教育法 15条・17条)

- 社会教育委員は、学校教育および社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱します。
- 社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会へ助言するために、社会教育に関する諸計画を立案したり、教育委員会の諮問に応じ意見を述べたりします。また、教育委員会の会議に出席して、社会教育に関し意見を述べることもできます。
- 青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者・関係者に対し、助言と指導を与えることができます。

つまるところ、
社会教育委員は、
社会教育行政のご意見番
的な存在なんだな。

—社会教育委員・公民館長等研修会—
讃岐幸治先生(愛媛大学名誉教授)の講話より

社会教育委員の役割 (イメージ図)



社会教育委員の活動が活発な自治体は、

- ① 教育委員会事務局の担当者が意欲的である。
- ② 政策提言や意見具申が行われ、社会教育委員の意見が施策に反映されている。
- ③ 社会教育委員による研究調査がされている。
- ④ 教育委員と社会教育委員の連携がとれている。

などの結果が報告されています。

社会教育行政における社会教育委員への期待

- 🍀 住民の意向を行政や施策に反映させるためのパイプの役割
- 🍀 地域の社会教育に関する情報の行政への提供
- 🍀 家庭・地域の教育力向上に具体的に取り組む人たちへの貢献
- 🍀 社会教育に関する諸計画の立案

今、求められている社会教育委員としての“すがた”とは…

考え・行動する社会教育委員なのです。

そのために必要なこと

- ① 社会教育委員の役割の明確化
- ② 地域課題の把握とその解決に向けた事務局との協働
- ③ 研修の充実
- ④ 県社連や地区社連の活動の活性化

(参考：「社会教育委員の職務等に関する調査研究報告書」国立社会教育実践研究センターH18)

社会教育研修センターは、社会教育委員のみなさんの学びの場を提供しています。



7/26～27に実施した「社会教育委員・公民館長等研修」



参加した社会教育委員の方の声

グループ協議では、積極的な意見交換ができました。公民館長さん方の思いが聞け、背筋が伸びる思いがしました。

今後社会教育委員としての仕事には、しっかり地域住民の方々の方に声を傾け、市へ提言していきたいと思えます。

社会教育委員の役割は認識していたが、今日の研修でより確かに広くなったと思う。特にご意見番的な役割はしっかりしたいと思う。

自らの学習を日常に行動で表現していきたい。過去の学習だけに頼らず、高齢になればなるほど学習しなければならない。

家庭教育シリーズ 子どもにとってのお手伝い【親学プログラム4-⑤】

次のお手伝いアンケート上位の項目から、あなたならお子さんが何をしてほしいか、1～3位までの順位をつけながら考えてみましょう。

お手伝い項目	あなたの順位	さんの順位	さんの順位	さんの順位
A 弟・妹の世話				
B 食事の配膳・片付け				
C 洗濯物をたたむ				
D 玄関の靴並べ				
E お遣い・買い物				
F 風呂掃除				

Point!

ランキングの手法

を用いて、親同士が家庭での手伝いについて語り合う中で、子どもの育ちにどのような意味があるかを考えていくワークです。実際に子どもにさせている手伝いの工夫や子ども自身が楽しんで手伝いをしている様子についても取り上げてみると話し合いが深まるでしょう!



社会教育の実践紹介

隠岐の島町

「クヌギの森にあるもの事業」

隠岐の島町立西郷公民館 主幹 高平 重也



ブラッククヌリンを弓矢で退治する!

冒険心をそそる自然体験は、山や海に囲まれた島に育つ隠岐の子らにとってもこの上なく楽しく、クヌギの森には子どもたちの笑顔があふれています。この「クヌギの森にあるもの事業」は、平成17年から始まり今年で6年目になりました。

ねらいとして、「自然の中での遊びを通じて、子どもたちの豊かな感性と自発性を育てる」を目標に掲げ事業を行っています。

外で体を動かすことにより、基礎体力の発達、豊かな感性、社会性が身に着くことを念頭に入れ、単に遊ばせるのではなく学習の場として、しっかりとした位置づけを行っていきたいと考えています。子どもたちにこの事業に積極的に参加してもらおうと考えたのが、キャラクター『クヌリン』です。案の定、子どもたちの人気マスコットとなり毎回大活躍です。



ついにクヌリンを発見!

益田市

一人ひとりがつながり、地域は地域で守る 活気あふれる北仙道

～平成22年度「実証!地域力醸成プログラム事業」に参加して～

益田市北仙道公民館 館長 田原 誠仁



「通学合宿」でひとり暮らしの方に心を込めて便りを書く子どもたち

少子高齢化と向き合う中、「地域をしっかり守り、活力を蘇らせたい」その一心から「実証!地域力醸成プログラム事業」に、臆にもすがる思いで応募しました。4月に「北仙道地区自主防災会」を設立したのをきっかけに、公民館事業に自主防災を関連付けた本事業を立ち上げました。

そこで、事業の拠点となる公民館を、普段は地域の皆さんが気軽に立ち寄れる「ふれあいの場」、そして災害時には「避難場所」として活用できるよう、113年間続いた元北仙道小学校に移転しました。

今年には地域住民の意識の高揚に主体を置きながら図上訓練等を行い、次年度はグラウンドの完全芝生化等、安心して利用できる環境を整えたいと考えています。

子どもから高齢者まで地域住民一人ひとりが繋がり、自主防災を意識し、有事に対応できる地域づくりこそが地域力醸成と思っています。



4/29 自主防災会発足式並びに総会を開催



県内派遣社会教育主事 奮闘中!

大人も子どもも夢を語れる地域をめざして

雲南市教育委員会 派遣社会教育主事 原 元宏



お客様との大切なコミュニケーション

その中心となるのが、市内7中学校の3年生が、市内全域をエリアとし、同じ日程で職場体験を行う『夢』発見ウィークです。『夢』発見ウィークは春の事業所への受入調査から始まります。事業所の方に、生徒の受入が可能かどうか調査するのですが、その中に「事業所PR」の欄をつくっています。「ガソリンスタンドNo.1をめざしてがんばっています」「食べて美味しい、体に美味しい食事をモットーにしています」など、それぞれの事業所の自慢や将来への夢がたくさん寄せられました。これらの情報は「求人票」として生徒に届けられます。そして、本番でも事業所の人たちに「自分の仕事や職場のある地域についての夢を語ってください」とお願いしています。

平成19年に行われた全国学習状況調査の結果は、雲南市にとってショッキングなものでした。「将来への夢や目標を持っている」子どもの割合が、全国と比べ、小学校・中学校とも大きく下回っていたのです。

そこで雲南市が目をつけたのが「キャリア教育」でした。かくして、小中学校一貫のキャリア教育推進プログラム『『夢』発見プログラム』が策定され、少しずつ成果を上げてきています。



班ごとに未来設計図を作成

学校教育の一環である『夢』発見ウィークは、子どもたちにとっての社会体験の場であると同時に、大人にとっては自分たちの職場や地域のよさを見つめる大切な機会であると考えています。そして、大人が夢を語ることで、子どもたちも将来への夢を持ち、雲南市への愛着も育ってくると思うのです。

平成21年度からは、『夢』発見ウィークの発展として、中学校3年生を対象にした1泊2日のキャリアアップセミナー「こうなんじゅう幸雲南塾 in さんべ」を開催しています。様々な職業の方との出会いの場を設定し、講演やワークショップ、仲間づくりを行っています。

今後も子どもたちが自分の将来について考え、夢をかなえるための目標をさがし、諸活動への意欲を高めるこれらの活動を積極的に推進していきたいと考えています。



班ごとに成果を発表



9月～12月の主催講座のお知らせ

東部社会教育研修センター 出雲

- 10月**
- 5日(火) **基礎研修** しまねの社会教育入門
 - 7日(木) **基礎研修** 社会教育施設入門
 - 7日(木) **基礎研修** 参加型学習入門
 - 7日(木) **基礎研修** 親学プログラム体験講座
 - 7日(木) **基礎研修** コミュニケーション術入門
 - 7日(木) **基礎研修** プレゼンテーション術入門
 - 19日(火) **専門研修** コミュニケーション・プログラム実践講座
 - 27日(水) **課題別研修** 家庭教育と社会教育
～親学ファシリテーター養成講座～
(第2回)
 - 28日(木)
- 11月**
- 10日(水) **課題別研修** 家庭教育と社会教育
～親学ファシリテーター養成講座～
(第3回)
 - 11日(木)
 - 16日(火) **メディア研修** スライドショー作成入門
 - 16日(火) **メディア研修** パワーポイント入門
 - 25日(木) **メディア研修** チラシ作成入門
 - 25日(木) **メディア研修** パワーポイント入門
- 12月**
- 2日(木) **専門研修** プログラム立案実践講座
 - 3日(金)
 - 8日(水) **メディア研修** スライドショー作成入門
 - 8日(水) **メディア研修** チラシ作成入門

東部社会教育研修センター

検索

※日程や会場をやむを得ず変更する場合があります。
※会場表記をしていない研修は、全てセンターで実施します。

西部社会教育研修センター 浜田

- 9月**
- 27日(月) **基礎研修** 親学プログラム体験講座
 - 吉賀町内
- 10月**
- 20日(水) **専門研修** コミュニケーション・プログラム実践講座
- 11月**
- 2日(火)及び
 - 26日(金) **専門研修** プログラム立案実践講座
 - 吉賀町内
- 12月**
- 2日(木) **課題別研修** 家庭教育と社会教育
～親学ファシリテーター養成講座～
(第2回)
 - 3日(金)
 - 15日(水) **基礎研修** 参加型学習入門
 - 江津市内

西部社会教育研修センター

検索



本誌バックナンバーは、
ホームページからご覧いただけます。

編集スタッフから

昨年度より、島根の社会教育行政の新たな任務として、「家庭教育への支援」が明示されました。これまで東・西部社会教育研修センターでは、家庭教育支援を行う人のための「親学プログラム」の開発・普及に努めてきましたが、今年度から新たに「親学ファシリテーター養成講座」を実施しています。両センターではその第1回目の講座を7～8月に実施し、計17名の方に修了証をお渡ししました。今後、第2回・第3回の講座で更に30名以上の親学ファシリテーターが養成される予定です。

社会教育指導者・関係者、学校関係者、子育て支援センターのみなさん、ファシリテーターを派遣〔無償〕しますので、ぜひ子育て支援にかかわる研修会、または「親学講座」の開催をしてみませんか。(最寄りの市町村教育委員会、または両センターまでお問い合わせください。)

東部社会教育研修センター

〒691-0074 出雲市小境町1991-2 サン・レイク2F
Tel. (0853) 67-9060 Fax. (0853) 69-1380

URL: http://www.pref.shimane.lg.jp/tobu_shakaikyoiku/
E-mail: tobu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp

西部社会教育研修センター

〒697-0016 浜田市野原町1826-1 いわみ～る3F
Tel. (0855) 24-9344 Fax. (0855) 24-9345

URL: http://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/
E-mail: seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp